

2024年8月11日  
8月第二主日礼拝式



# 「御名を掲げて」

(詩篇148:13)

み名をかかげて あなたをたたえます  
救いのために あなたは来られた  
救いのみちを 与(あた)えに  
天(てん)よりくだり 来られた  
十字架により いのち あがない  
よみがえられた

## 8 マジスティ

神の小羊イエスに 栄光といきおいと  
知恵と力と富と ほまれと賛美をささげよう  
天の栄光のみ座の前に  
みんな ひれふし あがめよう  
全地のすべての民よ  
十字架のみわざをたたえよう

新聖歌367番 「イエスよこの身を」

1 イエスよ この身を 行かせたまえ  
愛のしたたる 十字架 指して

※われは誇(ほこ)らん ただ十字架を  
あまつ憩(いこ)いに 入(い)る時まで

2 十字架にすぎる 弱きわれは  
今ぞ知りぬる 深き恵み ※(くりかえし)

3 十字架の上に 喜びあり  
たえず御蔭(みかげ)に 寄せたまえ ※

4 輝く国に のぼる日まで 十字架のもとに  
立ちてぞ待たん ※(くりかえし) アーメン

# 使徒信条(しとしんじょう)

われは天地の造り主、全能の父なる神を信ず。  
われはそのひとり子、われらの主、イエス・キリストを信ず。  
主は聖霊によりて宿(やど)り、処女(おとめ)マリヤより生まれ、  
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、  
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府(よみ)にくだり、  
三日目に死人のうちよりよみがえり、  
天に昇り、全能の父なる神の右に座(ざ)したまえり。  
かしこより来たりて生ける者と死にたる者とをさばきたまわん。  
われは聖霊を信ず。  
聖なる公同の教会、聖徒の交わり、  
罪の赦し、身体(からだ)のよみがえり、  
永遠(とこしえ)のいのちを信ず。

アーメン

新聖歌397番 「神の御子にますイエス」

1 神の御子にます イエスのために  
罪を敵として 立つは誰(たれ)ぞ

\* すべてを捨てて したがいまつらん  
わがすべてにます 王なる主イエスよ

2 富(とみ)の楽しみと 地の位(くらい)に  
目もくれずイエスに つくは誰(たれ)ぞ (\* )

3 罪にとらわれし たましいをば  
イエスに連れきたる 勇士は誰(たれ)ぞ (\* )

【次】

新聖歌397番 「神の御子にますイエス」

4 わが持てるものは 主よ汝(な)がもの  
きよき御戦(みいくさ)に もちいたまえ

\* すべてを捨てて したがいまつらん  
わがすべてにます 王なる主イエスよ

アーメン

# 主の祈り

天にまします われらの父よ。

ねがわくは 御名をあがめさせたまえ。

御国(みくに)を来たらせたまえ。

御心(みこころ)の天になるごとく、地にもなさせたまえ。

われらのにちようの糧(かて)を今日も与えたまえ。

われらに罪をおかす者を、われらがゆるすごとく、

われらの罪をもゆるしたまえ。

われらをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。

国(くに)と力(ちから)と栄え(さかえ)とは、

限りなく 汝(なんじ)のものなればなり。

アーメン

新聖歌63番 父 御子 御霊の

ちち みこ みたまの

おお みかみに

ときわに たえせず

みさかえあれ

みさかえあれ

アーメン